



## 指導課の重点

### 変化に対応し 未来を切り拓く力を育む 学校を創る

#### ☆学習指導

- 確かな学力を身に付けた自立した学習者を育成するための授業づくりの推進
- 多様性を尊重する心を育むための異なる文化・価値観・背景に触れる学習活動の推進
- 子どもの育ちを共有する幼保小中の連携

#### ☆生徒指導

- すべての子どもの成長を見守り、一人ひとりの発達を丁寧に支える発達支持的生徒指導の充実
- 「生徒指導の実践上の視点」を意識した授業実践による温かく安全な学校の実現
- チーム学校として機能する学校組織の構築

#### ☆特別支援教育

- 一人ひとりの教育的ニーズを踏まえ、子どもの主体的な取り組みを支える指導・支援の推進
- 個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づいた校内支援体制の充実
- 特別支援教育コーディネーターを窓口とした関係機関との連携

#### ☆学びの環境

- 多様な子どもの学びを最大限に引き出すための一人1台端末の効果的な活用
- 自己のキャリアステージに合った担任力を高めるための教職員研修の充実
- 子どもの学びを社会全体で支えるための地域とともにある学校づくり

- ★村山教育事務所指導課リーフレット
  - ★7教振の概要版
  - ★幼小リーフレット「つなぐ」等
  - ★第4次山形県特別支援教育推進プラン
  - ★授業改善チェックシート
- (4月下旬頃アップロード予定)



【関連資料】

## 社会教育課の重点

### 活力あふれる地域社会の共創

学校・家庭・地域の連携・協働の推進による  
地域の教育力の向上

- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
  - ・研修会、養成講座の開催
  - ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動出前講座の実施
- 家庭教育支援の充実
  - ・家庭教育支援フォーラムの開催
  - ・「やまがた子育て5か条」リーフレットの普及

#### 豊かな心の育成

- 読書活動の推進
  - ・研修会、講座の開催
- 感性や郷土愛の育成
  - ・郷土の魅力発見・体験プログラム普及事業の実施
  - ・郷土を知る情報ポータルサイト「ふるさとやまがた発見ナビ」の活用・普及
  - ・自作視聴覚教材コンクールへの出品対応・支援
  - ・村山地区自作紙しばい発表会の実施
  - ・ふるさと塾出前講座・研修会の実施
  - ・ふるさと塾アーカイブスの活用・普及



#### 社会に参画する当事者意識の醸成

- 地域活動・ボランティア活動の推進
  - ・地域青少年ボランティア推進会議の実施
  - ・中高生ボランティアサークル支援及び交流会の実施
  - ・ボランティア出前講座の実施
  - ・中学生向けボランティアセミナーの開催

#### スポーツを通じた健康で豊かな県民生活と

#### 活力ある地域社会の実現

- スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブの育成支援
  - ・山形県スポーツ推進委員研究大会の開催
  - ・総合型地域スポーツクラブ指導者スキルアップセミナーの開催
- スポーツ少年団等の指導者の育成
  - ・スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会の開催
  - ・村山地区スポーツ少年団指導者研修会の開催
- 部活動改革を踏まえた地域スポーツとの連携体制の整備推進

ホームページ

村山教育事務所社会教育課

検索

https://qr.paps.jp/jf4YI



## 「好き」と「楽しい」が育む成長 - 情熱をもって教育へ -

所長 岡崎 秀也

### はじめに

春の息吹が日ごとに感じられる頃となり、草木の芽吹きに心が躍る季節を迎えました。4月上旬に管内14市町の教育委員会を訪問した際、地域によっては残雪が山のようにあり、排雪作業が行われていました。待ちわびた春の訪れを感じるとともに、改めて村山管内の広さと自然の豊かさを実感したところです。春の訪れを喜び、新年度の教育活動を共に進めてまいりましょう。



### I 学校教育の役割：ウェルビーイング実現の土台

「山形県教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱」及び「第7次山形県教育振興計画」が策定され、「ウェルビーイングを目指し、多様なあふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり」に向けた取組みが本格的に始まりました。個人の幸せはもちろんのこと、多様な個性が集まった社会全体が将来にわたって良好な状態にあることを意味する「ウェルビーイング」の重要性は、既に広く認識されています。学校は子どもたちが「ウェルビーイング」を実現するための土台を築く場所です。多様な価値観や文化を尊重し、互いに支え合い、学び合うことを通して、子どもたちは未来を切り拓く力を身につけます。そのために私たち教職員は、子どもたちの成長を温かく見守り、一人ひとりの可能性を信じ、共に学び続けていきたいと思います。

### II 「知る、好む、楽しむ」の教え：仕事への向き合い方

論語の一部に「之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。」があります。これは、「物事を知っているだけでは、それを好きな人には及ばない。さらに、好きな人は、楽しんでいる人には及ばない。」という意味です。この言葉を仕事に置き換えると、「仕事をするうえで、知識やスキルをもつことは大切ですが、それだけでは十分ではありません。本当に良い仕事をするためには、その仕事を『好き』という気持ちを持ち、さらに『楽しい』と感じることが何よりも重要だ」と言えるでしょう。この考えは、子どもたちの成長にも深く関わってきます。先生方一人ひとりが、教育という仕事に情熱を持ち、互いに支え合う「チーム」となること。そして、その中で子どもたちが学ぶことの面白さを知り「自分で学びたい」という気持ちをもつこと。この二つが合わさった時、子どもたちは大きく成長することができ、私たちもその成長を共に喜び、分かち合うことができると思います。仕事を楽しむことは簡単なことではないかもしれませんが、しかし、少しだけ意識を変えてみることで、仕事への向き合い方は大きく変わるはず。私たち自身が教職という仕事を楽しむ姿勢を大切にすることが、子どもたちの成長をより一層後押しすると信じています。

### おわりに

私たち自身が教育を楽しみ、公私ともに生き生きと過ごすことが、子どもたちの学びを深めることにつながります。そのためには、心身の健康が不可欠です。自分自身のワークライフバランスも大切に、子どもたちの成長を共に喜び合える一年にしましょう。